

地域におけるチャレンジ・ネットワーク環境整備推進事業
中間報告書

都道府県 埼玉県

1. 事業の全体像	<p>(事業名) 彩の国女性チャレンジ支援事業 (ネットワーク等全体像) 別添資料 1 ページ参照 (ネットワーク参加機関) 別添資料 2・3 ページ参照 (年間スケジュール) 別添資料 4 ページ参照 全体図等参考資料があれば添付をお願いします。</p>
2. 事業内容及び事業計画の進捗状況と今後の課題	<p>(1) 事業内容 (事業が複数になる場合は、事業毎に から を記入してください。)</p> <p>ア. 事業名 女性団体の活動の支援 (女性チャレンジ推進団体委託事業) (別添資料 5・7 ページ参照)</p> <p>目標 運営組織 実施状況</p> <p>イ. 事業名 女性の政策能力活用事業 (女性チャレンジ推進自主企画事業) (別添資料 5・7・8 ページ参照)</p> <p>目標 運営組織 実施状況</p> <p>ウ. 事業名 チャレンジ・ネットワーク連絡会議の設置 (別添資料 2・3 ページ参照)</p> <p>目標 運営組織 実施状況</p> <p>エ. 事業名 女性のチャレンジ・リーダー養成 (別添資料 6・8 ページ参照)</p> <p>目標 運営組織 実施状況</p>

	<p>オ．事業名 「チャレンジネットワーク」構築のための I T環境整備 (別添資料9・10参照)</p> <p>目標 運営組織 実施状況</p> <p>カ．事業名 彩の国女性チャレンジ支援事業 報告書制作 (別添資料6ページ参照)</p> <p>目標 運営組織 実施状況</p> <p>キ．事業名 彩の国女性チャレンジ支援事業 地域ロールモデル集(仮称)の制作 (別添資料11ページ参照)</p> <p>目標 運営組織 実施状況</p> <p>(2) 成果と事業終了までの今後の課題 団体からの企画提案事業は、35団体から43事業もの提案が寄せられ、多様な女性のチャレンジニーズにあった事業内容となった。 今後、10月に開催する地域連絡協議会を、今後につながるような効果的なネットワークにしていくことができるかが課題である。 また、既存のWith You さいたまの相談事業を女性チャレンジ支援の視点で再構築を図る。</p> <p>(3) その他</p>
3．備考	
4．担当部課等	<p>(所在地) 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 (部課名) 埼玉県総務部男女共同参画課 (担当者) 山田勇・矢嶋直美</p>

注) 1 分量は、A4版2枚程度でお願いします。

2 参考資料があれば添付してください。

彩の国
女性チャレンジ
支援事業の全体像

With You さいたま
~埼玉県男女共同参画推進センター~

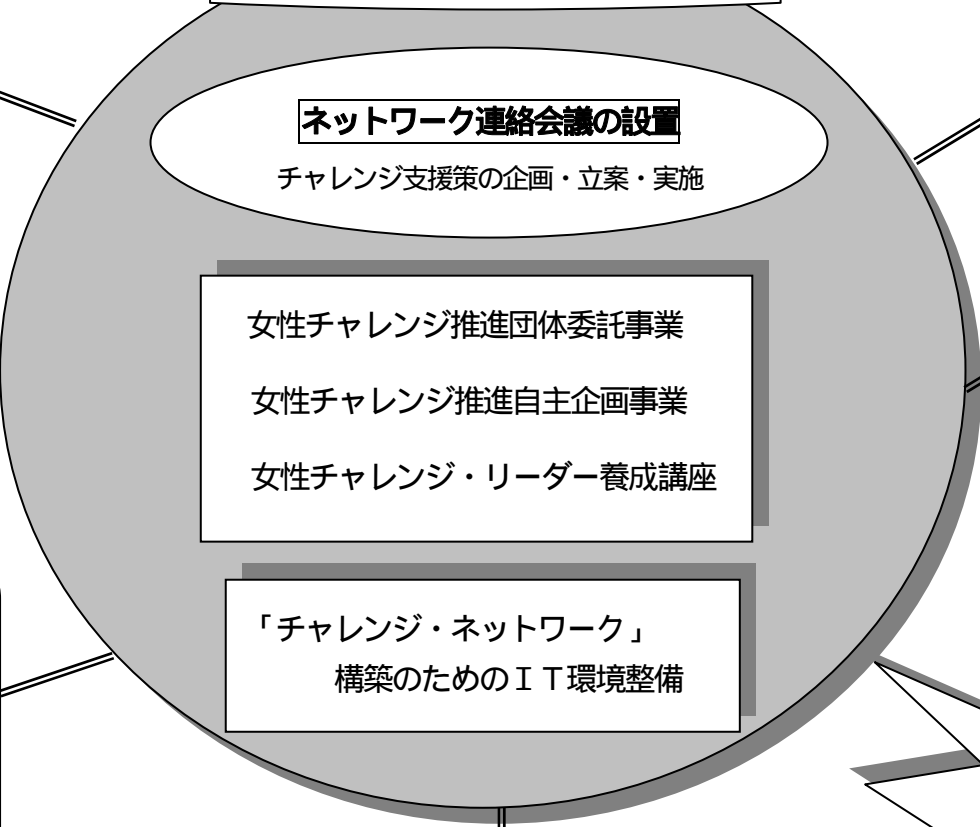
国・県・市町村の
行政関係機関

女性団体・NPOなどの
民間団体

市町村男女共同
参画関連施設

SOHO 協議会
創業・ベンチャー支援センター
市民活動サポートセンター
NPO支援センター

事業所
経済団体・労働団体
就職支援プラザ
ヤングキャリアセンター



様々な分野への生涯を通じた女性の
チャレンジ支援

教育関係機関（大学・公民館等）
産学交流プラザ

彩の国女性チャレンジ支援事業 ネットワーク連絡会議 設置概要

1 ネットワーク連絡会議とは

(1) 趣旨・内容

With You さいたまを拠点に、彩の国女性チャレンジ支援事業を実施していくにあたり、関係機関の相互連携を図るため、意見・情報交換を行う。

【第1回ネットワーク連絡会議の検討項目】

彩の国女性チャレンジ支援事業の説明（事務局から）
各関係機関の事業紹介（関係機関から）
支援部会についての説明（事務局から）
公募団体との情報交換・意見交換

H17年度With You さいたまの事業に関する連携・アドバイス
IT環境整備「イベントカレンダー」への協力依頼について

(2) 構成委員（計13人・敬称略）

男女共同参画全般

埼玉県男女共同参画審議会会長（矢澤澄子）
With You さいたま館長（柿沼トミ子）
埼玉県総務部男女共同参画課長（倉上伸夫）

企業・就業関連

（社）埼玉県経営者協会 事務局長（三国雅裕）
埼玉労働局 雇用均等室 室長補佐（布川裕子）
（財）21世紀職業財団埼玉事務所 課長（加藤益代）

起業関連

埼玉県創業・ベンチャー支援センター 副所長（鈴木康之）
NPO 法人さいたま SOHO 起業家協議会 理事長（太田 昇）

NPO・ボランティア関連

埼玉県社会福祉協議会 地域福祉部長（友永孝浩）

農業関連

さいたま農村女性アドバイザー [農業支援課推薦]（輪島まり子）

大学等教育機関

中央大学 法学部教授（広岡守穂）
目白大学 人文学部助教授（大西律子）

マスコミ関係者等

埼玉新聞社業務局長（小川秀樹）

<オブザーバー参加（公募事業の実施8団体）>

- ・あれあれあ ・ラナップ ・ACT（アクト）
- ・SCI（埼玉コラボレーションインスティテュート）
- ・さいたまNPOセンター ・国際女性の地位協会
- ・マドレボニータ@さいたま ・秩父市女性団体連絡協議会

2 ネットワーク連絡会議 支援部会とは

(1) 趣旨・内容

彩の国女性チャレンジ支援事業に応募し、事業委託・事業共催となった団体（以下「公募団体」と表記します）の核となる人に対して、分野ごとに関係機関が集まり、必要な支援及び意見交換を行うことによって、女性チャレンジ支援事業のキーパーソンを育成する。

公募団体は年度によって異なるため、支援部会の設置は常設ではなく、年度により分野にあわせて柔軟な体制で組織する。

【第1回ネットワーク連絡会議 支援部会における検討項目】

事業等の実施に当たり、公募団体から関係機関へ概要説明を実施。関係機関と公募団体との打合せにより、関係機関による公募団体への支援、及び公募団体が開催した講座受講者への支援を検討する。

(2) 平成16年度の支援部会

再チャレンジ支援部会

育児期及び育児後の女性が再チャレンジに向かうことを想定し、公募団体が行う講座の受講生等に対して、公募団体と関係機関が今後いかに連携を保ち、受講生等を支援するかについて、相互の情報交換を行う。

【関連機関】

- ・彩の国就業支援プラザ 主査 (鹿山光恵)
- ・ヤングキャリアセンター埼玉 主査 (千田敦子)
- ・職業能力開発センター カウンセラー (小島貴子)
- ・(財)21世紀職業財団埼玉事務所 課長(加藤益代)

【公募団体】

- ・マドレボニータ@さいたま
- ・あれあれあ
- ・ラナップ

広報・情報支援部会

IT環境整備「イベントカレンダー」の制作にあわせて、部会の設立を図る。

3 ネットワーク連絡会議及び支援部会の期日

(1) 期日 10月27日(水)

(2) 場所 With You さいたま セミナー室

(3) 人数 公募団体：各1～2名 関連機関：各1名

(4) 時間

ネットワーク連絡会議(13時30分～15時30分)

公募団体の方は、オブザーバーとしての参加

ネットワーク連絡会議 再チャレンジ支援部会(15時40分～17時)

支援機関との今後の連携等について、打合せ実施

事業内容及び実施状況の概要

1 目的

男女、とりわけ女性が個性と能力を十分に発揮しえない現状を踏まえ、女性の新しい発想や多様な能力を活かせるよう、様々な分野への生涯を通じた女性のチャレンジを支援することを目的とする。

2 必要性

- (1) 本県では、分野別及び職種別における女性進出の比率が低く、また、女性の労働力率が出産・子育て期に大きく低下する傾向が見られる。そこで、女性への積極的格差是正措置を実施し、意欲と能力のある女性が様々な分野へチャレンジするための支援を行う必要がある。
- (2) この事業を With You さいたまを中心に行うことで、With You さいたまの在り方を、従来の「自主事業実施型センター」から「利用者自立支援型センター」へ転換し、県民参画を促進させ、活力あるセンターへ移行させる必要がある。

3 実施内容

(1) 女性団体活動の支援（女性チャレンジ推進団体委託事業）

目的：女性が社会の多様な分野でチャレンジするための先駆的な活動を実施している女性団体等に事業提案を求める。このことにより、女性活動団体の育成・支援を図る。

方法：事業案の募集（オリエンテーション）・第1次審査（書面審査）・第2次審査（プレゼンテーション）・事務説明会を経て、2団体に事業委託。事業実施後には、団体から報告書を提出してもらう。

事業名：1 女性起業インターンシップモデル事業～女性のライフデザインを考える～
2 女性差別撤廃条約・勸告と埼玉県男女共同参画推進条例を地域で活用する

(2) 女性の政策能力活用事業（女性チャレンジ推進自主企画事業）

目的：個人・少人数グループ等が有しているチャレンジ支援事業として啓発効果の高い事業企画を With You さいたまと協働して事業化し、女性の政策・企画等の能力開発を支援するとともに、県民主体の事業展開を図る。

方法：事業企画の募集（オリエンテーション）・第1次審査（書面審査）・第2次審査（プレゼンテーション）・事務説明会を経て、With You さいたまとの共催事業とする。（5事業について、5回講座を組む）。

内容：会場使用料、講師料、広報費の一部の補助、With You さいたま広報紙、HPへの掲載。事業実施後に、団体から報告書を提出してもらう。

事業名：1 女子学生のための就職ガイダンス
2 私の力に気がつこう
3 手をつなごう温もりのまちづくり
4 いつだって再就職できるよ！
5 産後のリハビリプログラム

(3) ネットワーク連絡会議の設置

目的：女性のチャレンジ支援を推進する地域ネットワーク構築のため、With You さいたまを拠点に、雇用や福祉、産業など複数のチャレンジ支援関連機関等で構成されるチャレンジ支援ネットワーク連絡会議を設置し、各種チャレンジ支援事業の企画・立案及びその実践を行う。

内容：連絡会議を3回開催（準備会1回を含む）。女性が新たにチャレンジする際に必要となる職業支援、生涯学習、ボランティア・NPO活動、仕事と家庭の両立支援等を総合的に情報を提供し、ワンストップ化を構築する。また、事業ごとにプロジェクトチームを立ち上げ、アドバイザーとともに事業の企画・立案及びその実践を通して、女性の様々な能力開発を行う。

(4) 女性のチャレンジ・リーダー養成

目的：地域や職場等において男女共同参画を推進するための様々な実践活動に必要な、マネジメントや広報など具体的なノウハウを提供できるリーダーを養成し、人材を育成する。

方法：養成講座は、女性団体等からの企画提案方式を採用する。団体の募集(オリエンテーション)・第1次審査(書面審査)・第2次審査(プレゼンテーション)・事務説明会を経て、1団体に事業の企画・立案・運営を委託する。

(5) 「チャレンジ・ネットワーク」構築のためのIT環境整備

目的：地域情報や女性のチャレンジ支援に関する総合情報を収集・活用するため、With You さいたまのホームページのシステムを変更する。

内容：企画の段階からイベントカレンダーの制作について、利用者である関連施設・団体等から意見を聴取し、検討する。また、必要な情報については、SEに委託して、掲載情報の随時更新を図る。システム完成後には、ちらし等を作成し、公民館などで広報する。

- ・イベントカレンダー女性チャレンジ支援に関する情報提供
- ・開催月別にイベントを表示するイベントカレンダー
- ・キーワードにより希望する情報を探せる検索エンジンの設定

(6) 彩の国女性チャレンジ支援事業 報告書の制作

目的：彩の国女性チャレンジ支援事業が県内外の自治体のモデル事業となるよう、また、この事業の普及を図るため、平成16年度に実施した事業に関する総合報告書を制作し、各都道府県及び県内各市町村等の関連機関に配布する。

内容：上記1～5の事業についてまとめ、報告書10,000部を制作する。

(7) 彩の国女性チャレンジ支援事業 地域ロールモデル集の制作

目的：彩の国女性チャレンジ支援事業報告書の別冊として、女性のチャレンジ支援の拠点施設を紹介するとともに、そこで関連して活躍している身近なチャレンジモデルを紹介する事例集を作成する。

内容：県内男女共同参画関連施設などから、身近なロールモデルを推薦してもらい、女性チャレンジ応募団体の女性が編集講座を受講しながら、取材・執筆を行い、作成する。

団体からの企画提案事業について

埼玉県では、平成16年度の新規事業として「彩の国女性チャレンジ支援事業」を実施しています。この事業は、男女、とりわけ女性が個性と能力を十分に発揮しえない現状を踏まえ、女性の新しい発想や多様な能力を活かせるよう、様々な分野への生涯を通じた女性のチャレンジを支援するものです。

そこで、団体等から、女性たちの能力発揮とともに事業の実施を通して、チャレンジしたい女性たちのエンパワーメントにつながるような事業の企画提案の募集を行いました。

その結果、35団体・43件の企画が提案され、第1次審査を通過した16団体について、6月26日(土)に、第2次審査を公開のプレゼンテーション方式で実施し、次の8団体に決定しました。

今後、With You さいたま(埼玉県男女共同参画推進センター)などで実施してまいります。With You さいたまのホームページ(<http://www.withyou-saitama.jp/>)で企画事業への参加者の募集をお知らせしますので、ぜひ御参加ください。

なお、この事業は、奈良県、京都府、熊本県とともに、内閣府の「女性のチャレンジ支援策(<http://www.gender.go.jp/>)」の地域における取り組みのモデル事業として指定されています。

1 決定内容・団体

(1) 女性チャレンジ推進団体委託事業

埼玉コラボレーションインスティテュート

「女性起業インターンシップモデル事業<女性のライフデザインを考える>」

「女性起業」の事業主に女子学生をインターンシップとして受け入れてもらうことで、事業者の人材育成能力の強化を図るとともに、女子学生が自らのライフデザインについて「女性起業」という新たな視野を得る機会とします。

国際女性の地位協会(埼玉プロジェクト)

「女性差別撤廃条約・勧告と埼玉県男女共同参画推進条例を地域で活用する」

女性差別撤廃条約と女性差別撤廃委員会の日本政府への勧告や条例などの意義や内容を理解し、ワークショップと意見交換を通じて、実際の生活や地域に活かすための方策を検討するとともに、参加者の能力向上と人材育成を図ります。

(2) 女性チャレンジ推進自主企画事業

A C T (アクト)

「女子学生のための就職ガイダンス-就職活動をスタートする皆さんへ-」

就職活動をスタートする女子学生が、自己分析の方法を学び、就職に対する自己の興味や目標を明確にすることで、希望する職業に就けるように支援します。

あれあれあ

「私の力に気がつこう」

主に30代の専業主婦を対象にしたワークショップ型の学習を通じて、自分の力に気づき、家庭や地域でその力を発揮するきっかけづくりを行います。

秩父市女性団体連絡協議会

「手をつなごう温もりのまちづくり」

男性中心の社会観である地域において、男女共同参画社会づくりの実践的な推進を一步ずつ進めるために、意識調査やセミナーを行います。

ラナップ

「いつだって再就職できるよ！～自分のチカラをフル活用して自分らしい働き方、暮らし方を手に入れよう～」

仕事と人生をクリエイトする女性の講師が、子育て期の女性に自信をつけ、自分らしさを表現する実践的で楽しいワークショップ型の講座を行います。

マドレボニータ@さいたま

「産後のリハビリプログラム～社会参加に向けて体と心を立て直そう～」

女性の社会参加や再チャレンジをするために、ボールエクササイズなどで体力を取り戻し、不安定な産後女性の心身を安定させるプログラムを行います。

(3) 女性のチャレンジ・リーダー養成講座

特定非営利活動法人 さいたまNPOセンター

「おじさん受けいれ講座」

地域で活動する女性リーダーたちが、「定年を迎える団塊世代の男性をどう受け入れるか」という視点から、実態調査、ヒヤリング、ワークショップで実態を把握し、地域における新しい男女の連携協力について学びあいます。

2 第2次審査（公開プレゼンテーション）参加団体等からの声

- ・他団体のプレゼンテーションを傍聴することができてとても有意義だった。
- ・このような機会をはじめて経験したが、この事自体が女性をエンパワーメントしていると思った。
- ・「女性の再就職支援」という共通した思いを持った団体が複数あり、皆で力を合わせることでもっと大きなことが出来るのではと感じた。
- ・「社会」に対して自分自身がどう関わっていくのかやや見えてこない企画があった。

IT環境整備「イベントカレンダー」の進行状況

1 制作スケジュール

(1) 制作スケジュール

団体による登録申請の実施(10月8日~10月24日まで)

パスワードとIDを団体へ発送(11月5日まで)

団体による情報入力及びオペレーターによる情報検索(11月13日~)

一般公開(試験運用機関12月4日~)

一般公開(12月15日頃)

(2) イベントカレンダーに関する意見・提案募集

イベントカレンダーを制作するに当たっては、情報登録者にとって入力しやすく、情報閲覧者にとって手軽に検索しやすいシステムが必要となる。そこで「彩の国女性チャレンジ支援事業」の公募事業委託8団体及び男女共同参画推進センターのうち5市町(さいたま市・越谷市・新座市・上里町・鶴ヶ島市)にイベントカレンダー原案を提示し、意見・提案を募集した。(7月20日~8月6日・システムの完成を肯定する回答が多数)

(3) イベントカレンダー制作会社の決定

(株)富士通システムソリューションズ(8月18日契約済み)

2 イベントカレンダーの構成(別紙参照)

(1) 情報閲覧者の閲覧方法

イベントカレンダーの画面イメージについて

- ・初期画面は、当該月のイベントのタイトル(全カテゴリー)を掲載。タイトルをクリックすると、当該イベントの事業内容・実施場所・参加料金の有無・連絡先などが掲載された画面に移行。
- ・「全カテゴリー」のほか、「子育て」「就業」「国際関係」など8カテゴリーがあり、例えば、「子育て」を選ぶと、当該月の「子育て」のみのイベントが表示される。
- ・各月の画面については、過去と将来について、約半年のイベントを掲載。
- ・「地域」のボタンをクリックすると、「埼玉県内」「埼玉県外」の表示が出て、「埼玉県内」を選ぶと市町村別に検索が可能。

カレンダー識別機能

土・日曜日や祝祭日のエリアは色分けして表示。以下の日も同様。

(例えば)県民の日、体育の日、春分の日、秋分の日、海の日など

観光歳事掲載機能

画面の右枠には、祭りや花火大会など、県内の観光行事を掲載。

こうした日に講座やイベントを組む場合には、イベントの重複から参加率が減る場合があることを事前に知っていただきたいことと、女性にとって身近なイベントは価値が高く楽しい情報であるため。

「イベント情報登録閲覧機能」(サンプル案)

[月間イベントカレンダー(案)]

				検索
4月イベントスケジュール				
月を選択		地域を選択します		カテゴリを選択
4		さいたま市		福祉
1日	月			
2日	火			
3日	水	男性料理教室		
4日	木			〇〇の日
5日	金			
6日	土	ワークショップ		
7日	日	こころとからだの健康講座		
8日	月			
9日	火	パソコン教室受講者募集(～6/9)		
10日	水	男性料理教室		
11日	木			
12日	金			
13日	土			
14日	日			
15日	月			
16日	火			
17日	水	男性料理教室 パソコン教室(Excel)		
18日	木			
19日	金			の日
20日	土			
26日	金	女性誌講座受講生募集		
27日	土			
28日	日			
29日	月			
30日	火			

初期表示は当月表示で全カテゴリの情報が掲載された状態を表示。
 画面上部の月選択で、任意の月のイベントカレンダーに切り替わります。
 画面上部の地域選択(埼玉県市町村、埼玉県外)で、該当地域のイベントが表示されます。
 画面上部のカテゴリ選択で対象のカテゴリのみの表示に変わります。
 キーとなる語を入力して該当するイベント情報を検索できます。(対象となる項目固定)
 土・日・祝祭日のエリアが色分け(固定色)で表示されます。

「彩の国女性チャレンジ支援事業地域ロールモデル集（仮称）」の制作について

1 目的

彩の国女性チャレンジ支援事業報告書の別冊として、女性のチャレンジ支援の拠点施設を紹介するとともに、そこで関連して活躍している身近なチャレンジモデルを紹介する事例集を作成する。

2 内容・体裁

- ・埼玉県内の男女共同参画関連施設などとその施設を活用して活躍している女性（ロールモデル）の紹介
- ・体裁 A4版 2色 16ページ程度 5000部（見開き2ページで、10カ所、10人程度）

3 方法

（1）情報収集

With You さいたま、市町村男女共同参画関連施設対象に、事業や講座の受講生や関係者のうち「働きたい、キャリアアップ、NPO、育児・介護、起業、農業、まちづくり」などの分野で活躍する、県内の身近なロールモデルの情報を収集する。

（2）編集員（取材・執筆担当者）への依頼

女性チャレンジ支援事業の公募団体のうち、編集に関心のありそうな団体、With You さいたまのサポートスタッフ、市町村・男女共同参画関連施設の情報誌の編集員から、編集員（取材・執筆担当）に依頼する。

（3）編集講座の開催

- ・編集員対象に上野いく子さん（ユック舎代表）による編集講座の開催
- ・取材前 : 取材にあたっての質問項目の検討 3回
- ・取材の実施 : 2人1組で、4カ所ずつ取材・執筆
- ・取材・執筆後 : 執筆原稿の校正 3回

4 事業の特色

- ・県内の身近なチャレンジモデルの提示
- ・市町村の男女共同参画関連施設等の情報提供
- ・女性チャレンジ支援事業の応募団体の活用
- ・女性のエンパワーメント（編集講座の開催）